

製品説明書 品名: AR-250

作成日:2010.08.18 改定日:2017.06.02

1. 特徴

シリコーン樹脂系塗料(溶剤型) 耐熱温度250℃ 耐酸性、耐アルカリ性に優れる 煙道・集塵機等へ適応

2. 塗料性状

4. 坐科注从	•
項目	内容
容姿	2液型
荷姿	4kg、16kgセット
色調/光沢	グレー/半艶
密度 (23°C)	主剤:1.58±0.08 g/mL 硬化剤: 0.91±0.08 g/mL
粘度 (23℃)	30000MPa·s (BM粘度計 6号ローター 6rpm)
不揮発分	$76.0 \pm 2.0\%$
引火点	主剤∶11℃ 硬化剤∶4℃
発火点	主剤: 480℃(トルエン) 硬化剤: 480℃(トルエン)
貯蔵期間	6ヶ月
**	

注)上記の数値は標準を示すものであり、若干の変動 があります。

3. 関連法規則

<u>3. 関連法規</u>	!則
項目	内容
消防法上の	主剤:第4類第1石油類(非水溶性)
危険物表示	硬化剤:第4類第1石油類(非水溶性)
労安法上の	主剤:第2種有機溶剤等
有機溶剤区	硬化剤∶第2種有機溶剤等
	主剤:トルエン
	エチルベンゼン
光中はLの	キシレン
労安法上の │表示有害物	エチレングリコールモノエチ
衣 小 有 古 彻	ルエーテルアセテート
	硬化剤:トルエン
劇物表示	
	主剤:トルエン
	エチルベンゼン
DDTD	キシレン
│ PRTR │ 対象物質	エチレングリコールモノエチ
刈	ルエーテルアセテート
	硬化剤:トルエン
消防法上の	主剤:200L
指定数量	硬化剤∶200L

4. 組成

一十、小丘/炎				
	成分	配合 (wt%)		
主剤	シリコーン系樹脂	20.0		
	顔料	53.0		
	溶剤	23.0		
硬化剤	シラン系硬化剤	1.0		
	溶剤	3.0		

5. 塗装基準

<u> </u>	坚 装基华			
	項目	内容		
	適合素地	釒	失	
	素地調整	1種ケレン (錆・旧塗膜・水アカ等は完全に除去)		
	調合法		=96:4(wt%) し、均一に分散させる	
	可使時間	4時間		
	使用シンナー	No.50B、No.100Bシンナー		
	塗装方法	刷毛塗り	エアレス塗装	
塗	希釈率	10∼15wt%	10∼30wt%	
塗装条	塗装回数	4回	3回	
条 件	標準使用量	1回目 : 65g/㎡ 2回目~:195g/㎡/回	1回目 : 80g/m [*] 2回目~:380g/m [*] /回	
	標準膜厚(Dry)		μ m	
	エアレス	ノズルNo: 070	209(旭サナック)	
	塗装条件例	圧力 : 8~	·10MPa (2次圧)	

乾燥	温度	5°C	20°C	30°C
条件	指触	4時間	2時間	2時間
木計	半硬化	24時間	16時間	16時間
硬化条件		目安とし	て、180℃で20	0分加熱

- 注)・標準使用量は、外気温や個々の条件により変動する可能性があります。
 - ・標準膜厚は想定膜厚です。
 - ・本塗料の仕様詳細は施工仕様書をご参照下さい。

6. 注意事項

- 1) 開缶後、堅い塊がなく一様になるまで十分攪拌した後使用して下
- 2) 被塗装面の油、湿気、塵埃などを除去してから塗装して下さい。
- 3) 下記のような場合の塗装は避けて下さい。
 - ①降雨、降雪が予想される時。
 - ②外気温が5℃以下の時。
 - ③露点との差が3℃以内の時。
 - ④相対湿度が85%以上の時。
 - ⑤風の強い時。
- 4) 稼動により一時的に粘着性を帯び発煙しますが、やがて煙は止まり塗膜は硬化します。
- 5) 使用後の塗料は、皮張り防止の為、密閉して貯蔵して下さい。
- 6) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細に ついては、製品安全データーシート(SDS)をご参照下さい。



施工仕様書

品名: 耐熱耐酸塗料 AR-250

作成日:2010.08.18 改定日:2017.06.02

特	徴	シリコーン樹脂系塗料(溶剤型) 1コート、2液仕様
適用	箇所	鉄に塗装可能 250℃までの耐熱性、及び耐酸性が要求される箇所(煙道、集塵機等)に適用
仕上	色調	グレー(半艶)

●刷毛塗り

<u>們七坐。</u>	/						
施工		遒	料の調合		標準使用量	福維哈區	塗装間隔
区分		商品名調合	希釈剤	希釈率 (wt%)	保华使用量 (g/m²/回)	標準膜厚 Dry(μm)	坐表间隔 (20℃)
	素地調整	処理方法:1種ケレ (錯	ン ホ・旧塗膜・油・水ア	'カ等は完全に	二除去)		
	塗装 (1回目)	AR-250 主: 硬=96:4 (可使時間 4Hr)	50B 又は 100Bシンナー	10~15	65	25	16時間以上
工場内	塗装 (2回目)	AR-250 主: 硬=96:4 (可使時間 4Hr)	50B 又は 100Bシンナー	10~15	195	75	16時間以上
現地	塗装 (3回目)	AR-250 主: 硬=96:4 (可使時間 4Hr)	50B 又は 100Bシンナー	10~15	195	75	16時間以上
	塗装 (4回目)	AR-250 主: 硬=96:4 (可使時間 4Hr)	50B 又は 100Bシンナー	10~15	195	75	_
	乾燥	常温(20℃)3日以上					

●エアレス塗装

施工		塗料の調合			標準使用量	播卷叶属	金井 町(5
区分	工程	商品名調合	希釈剤	希釈率 (wt%)	保华使用量 (g/m²/回)	標準膜厚 Dry(μm)	塗装間隔 (20℃)
	素地調整		刷毛塗	りと同様 (1種	ケレン相当)		
	塗装 (1回目)	AR-250 主: 硬=96:4 (可使時間 4Hr)	50B 又は 100Bシンナー	10~30	80	25	16時間以上
工場内又は	塗装 (2回目)	AR-250 主:硬=96:4 (可使時間 4Hr)	50B 又は 100Bシンナー	10~30	380	115	16時間以上
現地	塗装 (3回目)	AR-250 主: 硬=96:4 (可使時間 4Hr)	50B 又は 100Bシンナー	10~30	380	115	
	乾燥		7	常温(20℃)3日	I以上	-	-

注意事項

1) 常温(20℃)では2時間で指触乾燥、16時間で半硬化します。目安として180℃で20分加熱することで硬化します。

(参考)乾燥条件

温度	5°C	20°C
指触	4時間	2時間
半硬化	24時間	16時間

- 2) 硬化前に塗装物を搬送する場合、現地搬入、組立後、塗膜の損傷のある個所及び塗り残した部分は、ディスクサンダー、ワイヤ ブラシ等で錆などを除去し、清浄な塗装面とし、適当なる方法にて油脂類、異物、水分なども除き、同工程でタッチアップして下さい。
- 3) 塗装完了後は出来るだけ速やかに装置を稼動して下さい。
- 4) 急激な温度上昇は避けて下さい。



塗膜性能表

作成日:2010.08.18 改訂日:2017.06.02

オキツモ 耐熱耐酸塗料 AR-250

·基本物性

		結	果
項目	試験条件	初期	250℃×16Hr 加熱後
耐屈曲性	6mmφ折り曲げ (JIS K5600-5-1による)	45 [°] 異状なし	10° 異状なし
耐カッピ゚ング性	エリクセン試験 20mmφ押出 (JIS K5600-5-2による)	2.5mm 異状なし	0.5mm 異状なし
耐おもり 落下性	デュポン式 1/2inch, 500g落下試験 (JIS K5600-5-3による)	50cm 異状なし	50cm 異状なし
硬度	鉛筆硬度 (JIS K5600-5-4による)	Н	Н
付着性	クロスカット法 (JIS K5600-5-6による)	分類1	分類1
耐食性	対中性塩水噴霧試験 300Hr (JIS K5600-7-1による)	異状なし	異状なし
加圧蒸気	プレッシャークッカー試験 (180℃, 1MPa)	300Hr 異状なし	300Hr 異状なし

•耐薬品性

	硫酸	浸漬	塩酸浸漬	NaOH浸漬
浸漬温度	5wt%	20wt%	15wt%	10wt%
常温	3200Hr	3200Hr	3200Hr	1200Hr
	異状なし	異状なし	異状なし	異状なし
50°C	1500Hr	1000Hr	400Hr	1200Hr
	異状なし	異状なし	異状なし	異状なし

試験片作製条件

L-V-3/ハ/	<u> </u>	
試験片	塗膜(塗料/膜厚)	AR-250 \angle 250 μ m
構成	基材(種類/処理)	普通鋼 / ブラスト
	調合 (wt%)	主剤:硬化剤 = 96:4
塗装方法/回数		スプレー/3回
	希釈	100Bシンナー 25wt%
	乾燥条件	予備乾燥:80℃×10分 焼付乾燥:180℃×20分